

ジャンル  
注釈・有職故実  
補助カード (有・無)

書名  
源氏男女装束抄

所蔵  
大妻

登録番号  
913.362  
5062  
1~3

設置

(1)外題 (籤・書) (書・刷) (原・後) (左・中) (単・双) (無)

源氏男女装束鈔 上

(2)装頓  
三巻 三冊 (袋) 懐紙・綴

寸法 (表紙)  
縦 25.6 cm × 横 18.1 cm

整版・古活字他 (全) 残存 (一) 欠存

(7)内題

(見返し) ↓ 刊記へ  
(序) 源氏男女装束抄序  
(目錄) 源氏男女装束抄上目錄 \* (18)へ  
(巻首) 源氏男女装束抄上  
(尾) 源氏男女装束抄下終

(3)表紙  
薄茶 色 文様  
花菱

(6)挿絵  
無・丹緑・墨印・色刷

(4)原題  
第一巻 縦 8.3 cm × 横 3.7 cm

(5)本文匡郭 (単・双・無) 字高・界線  
第一巻 縦 20.5 cm × 横 14.1 cm

(8)用字

序文 (漢) 片・平・他 行数 9行  
本文 (漢) 片・平・他 9行  
跋文 (漢) 片・平・他 8行

(9)作者  
月村齋宗碩

(11)序文

享保二年 正月 中旬  
千野亦月  
法眼昌億

(13)刊記 (最終丁末尾・裏見返し) ↓ 表紙見返し

源氏男女装束鈔 全三冊

浪華書林 松根堂蔵

(12)跋文

享保二丁 西歳 初春 上 漸壹丹  
義知著

(14)林伴 (蔵版目録) (一) 3 丁

下巻  
30才 33ウ  
↓ 補助カードへ

(15)旧蔵者

(18)へ 3種類あり、各巻1才にあり。

源氏装束抄一

										下	中	上	卷数	(17) 丁数・挿絵
											20	23	丁数	
画	画	画	画	画	画	画	画	画	画	画	画	画	絵・見開き	
画	画	画	画	画	画	画	画	画	画	画	画	画	絵・半葉	
													欠丁・破損等	
													刊記 表紙見返し 序 1才 2才 目録 3才 4才 本文 5才 23才 目録 1才 2才 本文 3才 20才 目録 1才 3才 本文 4才 28才	
													26才 28才 は「宗碩 公 後附」とあり 28才に 年月・署名あり ↓(回へ) 跋文 28才 29才 蔵版書目 30才 33才 ↓補助カドへ	

(17) 内題 中巻にフツマ

・目録 源氏男女装束抄後附目録

・巻首題 源氏男女装束抄後附

・尾題 源氏男女装束抄後附終

・尾題の前(20才)に次のような文と署名あり

女官 飴抄・胡書抄・藻鹽草之技・萃是

渡邊康映後附也今又少補且所

加三 齋頭 耳

壹安著

(17) 内訳

丁巻28才 本云 右一冊者依教寄懸望令附與藤原祐梁畢

永正十四年二月七日 宗碩

27x9 E10か 重た(下) 判紙不可

(19) 複写

有・無 コピー・写真・マイクロ  
(全・挿絵・広告・蔵版目録)

2.7cm x 1.7cm 朱陽

1.9cm x 1.7cm 朱陽

2.6cm x 2.6cm 朱陽

(15) 旧蔵者印

大妻女子大学草稿・テキスト研究所 調査カード (刊本)

ジャンル

補助カード 有・無

(1) 外題 (簽・書) (書・刷) (原・後) (左・中) (単・双・無)		書名		所蔵		登録番号	
		(2) 装帧 卷 冊 袋・懐紙・綴		寸法 (表紙) 第 卷 縦 cm × 横 cm		整版・古活字他 全・残存 ( ) 欠存	
(7) 内題 (見返し) (序) (目録) (巻首) (尾) (跋)		(3) 表紙 色 文様		(4) 原題簽 第 卷 縦 cm × 横 cm		(5) 本文匡郭 (単・双・無) 字高・界線 第 卷 縦 cm × 横 cm	
		(8) 用字 序文 漢・片・平・他 行数 本文 漢・片・平・他 行 跋文 漢・片・平・他 行		(9) 作者 (10) 絵師		(6) 挿絵 無・丹緑・墨印・色刷	
(11) 序文		(13) 刊記 (最終丁末尾・裏見返し)		(14) 広告・蔵版目録 ( ) 丁		(15) 拍蔵者 (印)	
(12) 跋文							

(16) 柱刻

(17) 丁数・挿絵

画	画	画	画	画	画	画	画	画	画	画	画
画	画	画	画	画	画	画	画	画	画	画	画

30才

0 下巻 30才 / 33才の蔵版書目

(18) 備考 (書人札 識語・所見 合綴や補写等)

浪華書林吉田松根堂蔵版書目 賀賀屋善善蔵

四書集註 林道春點大字 十 但來先生隨筆 和歌世語添 五

論語微 但來先生述 十 聖學自在 新井白蟻著 三

同 藍田先生校訂 一 閑の曙 同著 二

論語微解 中根紀先生述 二 牛馬問 同著 四

論語微 中ヨリ語ヲ出シ委ク諸書ヲ引テ註釋ス微ノ解シ難キヲ曉スニテ又作文ニ益アリ

近思錄 羊叔彬 四 講習餘筆 蘭林先生編 四

全文抱朴子 吳興郡山人撰 慈宥著 八 先達遺事 稻葉正信著 一

韓氏外傳 韓夫子著 五 此書八開齋先生才ヨリ門派諸賢并ニ同時諸先生事蹟言行ヲ輯録ス大ニ學者心得タル鴻寶タリ

厚經大義 道春點大字 一 近世叢語 九華角見先生著 四

同 詳解 蘆川桂洲著 五 世説新語ノ部分ニ做ヒテ慶長元和ヨリ寛政享和ヨリメノ名賢大儒和

國語正本 葦註改點 六 聖者高僧名賢顯賢ヤ奇人并ニ農夫商賈ノ言行ヲ書クハク妙見スハク愕クハク笑スハク奇情非常ノ事ヲトクハクテ又註ニメテ傳テ

搜神記 吾吾吾吾合什著 五 詳ニ記ス實ニ發死有用ノ面白キ事ヲ

複写

有・無 コピー・写真・マイクロ (全・挿絵・広告・蔵版目録)

心齋橋通安土町北へ入

ジャンル

補助カード

有 無

(12) 跋文		(11) 序文		(7) 内題 (見返し) (序) (目録) (巻首) (尾) (跋)		(1) 外題 (箋・書) (書・刷) (原・後) (左・中) (単・双・無)		書名	
								所蔵 大妻	
(14) 広告・蔵版目録 (丁) ↓詳細は(18)へ	(13) 刊記 (最終丁末尾・裏見返し)		(2) 装幀 巻冊		(3) 表紙 色 大・半・中・小・横・升		(2) 袋・懐紙・綴		登録番号
			本文 漢・片・平・他		序文 漢・片・平・他		跋文 漢・片・平・他		
(15) 旧蔵者 (印)		(9) 作者		(6) 本文 匡郭 (単・双・無) 字高・界線		(4) 挿絵 無・丹緑・墨印・色刷		整版・古活字・他 残存 全・( ) 欠存	
		(10) 絵師		(8) 用字 第 巻 縦 cm × 横 cm		(5) 原題箋 第 巻 縦 cm × 横 cm		(3) 文様	

画	画	画	画	画	画	画	画	画	画	画	画	画	画
画	画	画	画	画	画	画	画	画	画	画	画	画	画

内訳(実丁・頁)

307

(18) 備考 (書入れ・識語・所見など)

藥徴 東洞先生著 三  
 續藥徴 村井先生著 三  
 東洞遺稿 東洞先生試知方 三  
 建珠録 東洞先生試知方 一  
 續建珠録 南涯先生試知方 一  
 辨醫斷 堀江先生著 二  
 醫方圓機 田中牧齋著 二  
 產航 飲肥養原先生著 二  
 治痢經 主為菴玄順著 二  
 附和漢人交考  
 力斗必録 嶋蘭先生著  
 公和永録

古文真寶前集 片十附 一  
 茶山先生花月吟 小本 一  
 三字經國字解 多賀圭一解 一  
 訓蒙要古録 西嶺山先生著 三

貞觀政要詳解 林道春先生著 五  
 通俗千金寶 毛利貞齋著 十  
 法曹至要抄 坂上葉明著 三

此書ハ注ハ例ニ倣ヒ門ヲ十三ニ分チ理  
 氣理血ノ制ヨリ實然病及ビ瘡瘍雜劑  
 秋解ノトニ至ルニテ悉ク記シ醫道ノ  
 此書ハ孕婦産前後ノ諸症ヲ論ジ  
 且數人ヲ療シテ最其功驗アル  
 本草方ヲ撰テ著シ産科ノ一助ヲラシム

此書ハ經史子集ノ中ヨリ聖言  
 ヲ抜キ知人賞異ヨリ勸學徳行  
 君臣禮儀ニイタリ三八門ニ分チ片  
 カナヲ以テ注釋シテ最ツトシヤスラ  
 シム

此書ハ經史子集ノ中ヨリ聖言  
 ヲ抜キ知人賞異ヨリ勸學徳行  
 君臣禮儀ニイタリ三八門ニ分チ片  
 カナヲ以テ注釋シテ最ツトシヤスラ  
 シム

此書ハ經史子集ノ中ヨリ聖言  
 ヲ抜キ知人賞異ヨリ勸學徳行  
 君臣禮儀ニイタリ三八門ニ分チ片  
 カナヲ以テ注釋シテ最ツトシヤスラ  
 シム

此書ハ經史子集ノ中ヨリ聖言  
 ヲ抜キ知人賞異ヨリ勸學徳行  
 君臣禮儀ニイタリ三八門ニ分チ片  
 カナヲ以テ注釋シテ最ツトシヤスラ  
 シム

此書ハ經史子集ノ中ヨリ聖言  
 ヲ抜キ知人賞異ヨリ勸學徳行  
 君臣禮儀ニイタリ三八門ニ分チ片  
 カナヲ以テ注釋シテ最ツトシヤスラ  
 シム

此書ハ經史子集ノ中ヨリ聖言  
 ヲ抜キ知人賞異ヨリ勸學徳行  
 君臣禮儀ニイタリ三八門ニ分チ片  
 カナヲ以テ注釋シテ最ツトシヤスラ  
 シム

此書ハ經史子集ノ中ヨリ聖言  
 ヲ抜キ知人賞異ヨリ勸學徳行  
 君臣禮儀ニイタリ三八門ニ分チ片  
 カナヲ以テ注釋シテ最ツトシヤスラ  
 シム

此書ハ經史子集ノ中ヨリ聖言  
 ヲ抜キ知人賞異ヨリ勸學徳行  
 君臣禮儀ニイタリ三八門ニ分チ片  
 カナヲ以テ注釋シテ最ツトシヤスラ  
 シム

此書ハ經史子集ノ中ヨリ聖言  
 ヲ抜キ知人賞異ヨリ勸學徳行  
 君臣禮儀ニイタリ三八門ニ分チ片  
 カナヲ以テ注釋シテ最ツトシヤスラ  
 シム

(19) 複写  
 有・無 コピー・写真・マイクロ  
 (全・挿絵・広告・蔵版目録)

(12) 跋文		(11) 序文		(7) 内題 (見返し) (序) (目録) (巻首) (尾) (跋)		(1) 外題 (箋・書) (書・刷) (原・後) (左・中) (単・双・無)		書名	
								所蔵 大妻	
(14) 広告・蔵版目録 (丁) ↓詳細は(18)へ	(13) 刊記 (最終丁末尾・裏見返し)	跋文 漢・片・平・他	本文 漢・片・平・他	序文 漢・片・平・他	(8) 用字 行数	(5) 原題箋 縦 cm × 横 cm	(3) 表紙 色 文様	(2) 装幀 巻冊	登録番号
		行	行	行	行	第 巻 縦 cm × 横 cm	(4) 挿絵 無・丹緑・墨印・色刷	大・半・中・小・横・升	袋・懐紙・綴
(15) 旧蔵者 (印)		(10) 絵師		(9) 作者		(6) 本文匡郭 (単・双・無) 字高・界線		整版・古活字・他 残存 全・( ) 欠存	

画	画	画	画	画	画	画	画	画	画	画	画	画
画	画	画	画	画	画	画	画	画	画	画	画	画

内訳（実丁・頁）

(18) 備考（書入れ・識語・所見など）

丸散手引抄 横本 一  
 丸散歌歌煉煉丸膏丸散酒等ノ方ヲ  
 記セリ且コトク製シテウ并ニ員偽ノ  
 見分ケヤマテ詳ニシル又凡ソ丸散煉煉  
 等ヲコシラハント思ハバカナラズ先此書  
 ヲ見ルハシ

醫療察病考 筱山和順著 小本 三  
 此書ハスベテ病症ヲ編テ病因ヲ考ヘ診察  
 ヲ詳ニシ并ニ經驗ノ方ヲ出ス疾ノ機ヲ  
 診察シテ疾ヲ起ラントスラ先知リ或ハ輕重ト  
 虚實トヲ明クシ寒症ト熱症トヲ辨ヘ或ハ  
 治スルト治セザルト既ニ既セザルトヲ辨セ或  
 ハ收ムベキト或ハ放ムベキト補フベキト補フベキト  
 辨治等ニテタルヲ詳ニシテ又ハ疾ノ  
 秋傳長壽法 繪四入 二  
 此書ハ小兒を幸ニ有ツる秘伝〇風疔瘡の  
 心得傳中虫の根をひらき病長生ならしめ又  
 老若男女養生の心得を記す

小兒養育抄 香月牛山眞傳補 五  
 附症疹心得草  
 此書ハ小兒初生上ノ養育の法を詳  
 ニ論じて飲食衣服までをふく書生の  
 かるはれの別して疔瘡麻疹の心得一切  
 諸病の統ならざる事々々ねのる数  
 の類にいたるまで密著切に述〇す實に家  
 一覽を欠くハからざる玉帛なり

金匱小兒方 小本 一

(19) 複写

有・無 コピー・写真・マイクロ  
 （全・挿絵・広告・蔵版目録）

教員語

梅園三浦先生考 二

詩翰 此書ハ詩學必用ノ事ヲ詳ニ述ベテハ  
 ニテ記シ又聊詩門ニ臨ミシ後ハ必見ハ  
 ルベシ述ニ名典ニ列ラン

蘭室先生詩文集 初編 十二  
 續編 八

唐詩合解 十

唐詩正聲 高廷禮選 四

熟字彙集 小本 二

此書熟字ヲ廣ク集メ門部并ニ字  
 義ヲ分チテバ詩作熟字ノ早引ト謂  
 フハ誠ニ便利ノ門内ニテ字ノ熟語ヲ索  
 メトシバ 國ハニ字ナレバ 國ハニ字  
 フレバ 國ハニ字ニ 國ハニ字ニ 國ハニ字  
 用平及ラ分チモハラ使用タラニム

熟字小片 小本 二

日本詩故事選 小本 二  
 此書ハ帝王 諸王 官家 武臣 神仙 隱逸  
 初二官階等ノハカ類ヲ分チテオク其  
 傳ヲ記シ又ニ先哲ノ詩語ヲ撰出シ  
 行記ヲ作例トス

手相卽坐考 戸塚翁先生著 二  
 此書ハ〇〇ノ字〇〇〇三ニ相本よび〇〇ノ字  
 月ハ〇〇〇〇〇〇ノ國を設け相〇ハ字の秘伝  
 を著ク若キ子字の選也



(12) 跋文		(11) 序文		(7) 内題 (見返し) (序) (目録) (巻首) (尾) (跋)		(1) 外題 (箋・書) (書・刷) (原・後) (左・中) (単・双・無)		書名														
								所蔵 大妻														
(14) 広告・蔵版目録 (丁) ↓詳細は(18)へ	(13) 刊記 (最終丁末尾・裏見返し)		跋文 漢・片・平・他		本文 漢・片・平・他		序文 漢・片・平・他		(8) 用字		(5) 原題箋 第 巻 縦 cm × 横 cm		(3) 表紙 色 文様		(2) 装幀 巻 冊		書型 大・半・中・小・横・升		袋・懐紙・綴		登録番号	
			行		行		行		行数		第 巻 縦 cm × 横 cm		(4) 挿絵 無・丹緑・墨印・色刷		寸法 (表紙) 第 巻 縦 cm × 横 cm		整版・古活字・他		残存 全・( ) 欠存			
		(10) 絵師		(9) 作者		(6) 本文匡郭 (単・双・無) 字高・界線		(15) 旧蔵者 (印)														

内訳(実丁・頁)

画	画	画	画	画	画	画	画	画	画	画	画	画	画
画	画	画	画	画	画	画	画	画	画	画	画	画	画

(18) 備考(書入れ・識語・所見など)  
**疣瘡呪調法記** ひらな 小本 一  
 此書はほうまうよけの神符まじりなみ二奇才妙薬等のもともやく付せよきとえらびて常用の便りとす

同 紅ニより 両面摺ハ摺 一

此書は疣瘡神のオリヤフの井ニヨリて痘のよしあしを見るヤツの伝名方の湯茶に其外心得へき事の教を委しくあらはす中にもほうまうの大事は眼目をいせぐをもつ肝要とすよ眼となすくる奇なり妙薬等も教のしるす

婦人こびんき抄 香月山山著 六  
 此書は世間をもとたる術より性婦十日の間の保養を後教の事ともを

世の人々一にみれば子には遺子とて生るる子も木の病と御家名明し  
**女産道** 絶を院日誠著 一

**永代調法記寶庫** 大本 一  
 此書は先公算見一九名の算術をほじめ

服心令人名と百官武官諸設名目万種柳の圖の礼式諸諸礼心得并大人小児諸病妙法冬法万津物の妙方当用秘伝書 万巻巻名御記法料理御女に其外世間にあらゆる事ありまじり集の宝のてて日夜復  
 (19) 複写利用可し

有・無 コピー・写真・マイクロ  
 (全・挿絵・広告・蔵版目録)

**書翰初學抄** 石摺手本 一  
 增補日東尺牘石摺手本 一

此書ハ俗通ノ文章ヲ與テカケラニ漢文ヲ附シ頭書ニハ異名書替ノ雅言其餘尺牘必用重宝ノト數句記又

**尺牘道標** 蘆門先生著 二  
 尺牘ノ作例ヲ載テ各儀ニ因テ以テ便用ニ備フコトヲモ亦片カナニテ法解ス

**消見尺牘皆梯** 中本 四  
 尺牘ノ學ヲ捷徑ノ書ナリ先ハシメニ和文ヲ述ベテ漢文ヲ以テ其作例ヲ示シ尺牘ノ式ヲ備ヘテ尺牘初學ノ重宝トナリ

**翰墨尺牘吹空** 白石先生著 二  
 此書ハ尺牘ノ文法ヲ述ベカタハラニ真字ヲ附シ頭書ニハ書替ノ雅文ヲ登グ卷尾ニ異名類并ニ書東ノ式法ヲ詳ニ記ス

**尺牘清裁** 王世貞編 一

**尺牘奇賞** 陳仁錫選 四

**書簡啓發** 東都汪南先生著 三  
 此書ハ和ノ書狀ノ文古クハ一句ノ以テ下ニ漢文ニテ尺牘ノ熟語ヲ集メ且書式認メヤスベテ初心ノ心得ヤスヤウ秀リ

(19) 複写利用可し

		(12) 跋文		(11) 序文		(7) 内題 (見返し) (序) (目録) (巻首) (尾) (跋)		(1) 外題 (箋・書) (書・刷) (原・後) (左・中) (単・双・無)		書名					
		(14) 広告・蔵版目録 (丁) ↓詳細は(18)へ		(13) 刊記 (最終丁末尾・裏見返し)		(8) 用字 序文 漢・片・平・他 本文 漢・片・平・他 跋文 漢・片・平・他		(5) 原題箋 第 卷 縦 cm × 横 cm		(3) 表紙 色 大・半・中・小・横・升		(2) 装幀 所蔵 大妻 巻 冊 袋・懐紙・綴		登録番号	
		(15) 旧蔵者 (印)		(10) 絵師		(9) 作者		(6) 本文匡郭 (単・双・無) 字高・界線		(4) 挿絵 無・丹緑・墨印・色刷		寸法 (表紙) 第 巻 縦 cm × 横 cm		整版・古活字・他 残存 全・( ) 欠存	



		(12) 跋文		(11) 序文 (跋) (尾) (巻首) (目録) (序) (見返し)		(7) 内題		(1) 外題 (箋・書) (書・刷) (原・後) (左・中) (単・双・無)		書名							
		(14) 広告・蔵版目録 (丁) ↓詳細は(18)へ		(13) 刊記 (最終丁末尾・裏見返し)		(8) 用字 序文 漢・片・平・他 本文 漢・片・平・他 跋文 漢・片・平・他		(5) 原題箋 第 卷 縦 cm × 横 cm		(3) 表紙 色 大・半・中・小・横・升		(2) 装帧 卷 冊 袋・懐紙・綴		所蔵 大妻		登録番号	
		(15) 旧蔵者 (印)		(10) 絵師		(9) 作者		(6) 本文匡郭 (単・双・無) 字高・界線		(4) 挿絵 無・丹緑・墨印・色刷		寸法 (表紙) 第 卷 縦 cm × 横 cm		整版・古活字・他 残存 全・( ) 欠存			

(17) 丁数・挿絵

画	画	画	画	画	画	画	画	画	画	画	画	画
画	画	画	画	画	画	画	画	画	画	画	画	画

内訳 (実丁・頁)

(18) 備考 (書入れ・識語・所見など)

**校正新撰姓氏錄** 稻考大校訂  
著者本姓氏録 ○ ○ ○ ○ ぬて ○ 誤す  
多しニトガ稲考大入先師なる本居翁  
の説にもトガきて原本の誤 ○ の文も  
ことごとく正し本居翁遺稿の奇引 ○  
を ○ マ ○ マ四巻とはなしぬ実には  
の定本たり

**法華山心礼物語** 繪入 二  
此書は四言人の策 乱て上藤のうた  
へる唱歌にもトガき安くのへ理を述  
たる云もしろうき絵入物語なり

**神代卷鹽土傳** 谷重遠著 二  
\* **中臣被鹽土傳** 同著 一  
**土佐國式社考** 同著 一  
神代ヲ説カル書 數部アリトイヘトモ  
ハ正シカラズ 重遠先生ハ國字ニテ  
ハシナレバ 橋別ノ見ヲコソ書ニテ  
ハセリ 實ニ神代ヲ解テ正説此書ニ  
アモナシ

**番神問答**

采神問答抄 日達著 二  
此書は三十○神のあふめ ○ のヒニ  
元旦神備ニ道をしめし邪義をし  
クマシ王道ニかちなき深奥教等を  
フマシカク説明しなを道テしめす

**鎌倉殿中問答記**

鎌倉殿中問答記 日達著 二  
此書は鎌倉相模守高時の執事長崎入  
道 ○ 志の館にありて目印對建の  
目印八月に同 ○ のコレもむかうかる  
テ詳に法釈す

**俗説教員辨** 同著

四

先に世に行はる俗説辨之にもれたる  
事どもむひろく集めて比編に其はす  
○ 亦世に久く ○ 書つたなし事の大に  
あやまれるを委く編せし書也

**東遊記**

橋南 繪入者 前後十  
繪入 同 前後十

**西遊記**

同 前後十

此書は先生醫學士行のたつ諸國遊の  
所かう名所 ○ ○ 奇談 ○ 説を書あつめら  
れたる記録にして其あのみづから見  
著の叙入を念み見るに面白くて大ニ  
リ

**日蓮上人御傳記** 繪入 十  
祖師御代の伝記にして御誕生ましま  
すより當宗御建立の始末教々御危難  
の事 ○ に弘法全ぶして身延山を開創せ給  
ふ事并山内緒堂細見の圖御入滅後  
葬禮の式にいたり ○ ○ 事林をこまご  
まり兵法花の詔御利益の事まで ○ 記  
して ○ ○ 全し ○ 傳師の御伝記并 ○ 宗  
宗 ○ ○ 宗の事實員 ○ 附す ○ 御傳記  
童にもかかり安き書 ○ ○ 事には京門  
の ○ ○ 作へば有難き書なり

(19) 複写

有・無 コピー・写真・マイクロ  
(全・挿絵・広告・蔵版目録)

(12) 跋文		(11) 序文 (跋)		(7) 内題 (見返し) (序) (目錄) (巻首) (尾)		(1) 外題 (箋・書) (書・刷) (原・後) (左・中) (単・双・無)		書名			
								所蔵 大妻			
(14) 広告・蔵版目録 (丁) ↓詳細は(18)へ	(13) 刊記 (最終丁末尾・裏見返し)		跋文	本文	序文	(8) 用字	(5) 原題箋	(3) 表紙	(2) 装帧	登録番号	
			漢・片・平・他	漢・片・平・他	漢・片・平・他	行数	縦	色	大・半・中・小・横・升		巻
(15) 旧蔵者 (印)		(10) 絵師		(9) 作者		(6) 本文匡郭 (単・双・無) 字高・界線		(4) 挿絵		袋・懐紙・綴	寸法 (表紙) 第 巻
										行	
										全・( ) 欠存	

内訳(夷丁・頁)

画	画	画	画	画	画	画	画	画	画	画	画	画
画	画	画	画	画	画	画	画	画	画	画	画	画

33才

(18) 備考 (書入れ・識語・所見など)

草書 篠崎三嶋先生輯 四

此書ハ漢ヨリ明ニ至ル名家ノ草書ヲヒロク取ルハ凡ソ草書ノ集也教部アレトモ字解ノ古雅ナルコトコレ勝ルハナシ

童蒙 筆道三部書 少門監監述 三

此書ハ筆の特ヤウを以テ(連筆の法)点画の式論(神速)の各目(圖)までくはしく論ず別して楷書(便家)の巻には(彼)連筆の法(制)点画の式度及字解の格度其外楷書の〇〇をもちまますしるせり

書言 一

此書ハ古今書法ノ要奥オヨビ草隷ノ辨アルハ假名ノツカヒヤウ出處等マテ詳ニ載セシルス

親教鳥白譚 廣澤先生著 五

廣澤先生 池の眼日生涯の胸中を されたる物語にして専ら和漢の草〇にたよりある事とを著つへぬ大は書家の事實を見らるによろしくおもふるべき書なり

筆法温知書 竹篠田と眞跡 一

此書は筆のもちやう字跡肥〇のころろ凡九種八病の百つまからに述べ諸種のはじまりまで委しくするすあよれ書を好む君子は見るべし益あり

辨梅帖 千代松大人書 一

此書は勅撰明詠集を申〇に書つらねたる事本也

(19) 複写

有・無 コピー・写真・マイクロ (全・挿絵・広告・蔵版目録)

御式目童子訓 繪入 一

これは所條〇〇〇〇のうへに立られたる式目なり〇書に注釈を和〇〇立書家のことしやすき教訓の書なり

心学五常辨 繪入 一

心学あるも見よ 繪入 一  
此二書は五常のそと人倫の大義を童蒙児女に〇〇〇とさるるやうひらかな絵入にして見やすからむ

道ニ幼童蒙訓 繪入 三

一本は思童に思童の道をもしゆる者にてたへおろかなる女子たりともすれ中きやうみちかざる書也

閑路提灯 附見閑路修行 二

後編 同書 二

人間一生の安心の大法をくはしく解き神儒佛の事をつまひらかに解きさとしことりとをいらくこと其外人間安心のおもむき此書を見れば大に〇あり

女五常川俵織 貞原先生著 繪入

此書は婦人のつねく身におこなひ〇〇〇〇〇五常のみちを見せかたにまやごとくやすき〇〇女五半をやはらげ大字いかなにして讀みやすからしめ事ら身と心とを正し〇〇〇〇〇〇に〇せり



(12) 跋文		(11) 序文		(7) 内題 (見返し) (序) (目録) (巻首) (尾) (跋)		(1) 外題 (箋・書) (書・刷) (原・後) (左・中) (単・双・無)		書名			
(14) 広告・蔵版目録 (丁) ↓詳細は(18)へ	(13) 刊記 (最終丁末尾・裏見返し)		跋文	本文	序文	(8) 用字	(5) 原題箋 第 卷 縦 cm × 横 cm	(3) 表紙 色 大・半・中・小・横・升	書型	(2) 装幀	所蔵
			漢・片・平・他	漢・片・平・他	漢・片・平・他	行数	縦 cm × 横 cm	文様	袋・懐紙・綴	冊	巻
(15) 旧蔵者 (印)		(10) 絵師		(9) 作者		(6) 本文匡郭 (単・双・無) 字高・界線	(4) 挿絵 無・丹緑・墨印・色刷	寸法 (表紙) 第 巻	縦 cm × 横 cm	整版・古活字・他	登録番号
						縦 cm × 横 cm		縦 cm × 横 cm	残存	全・( ) 欠存	

(17) 丁数・挿絵

画	画	画	画	画	画	画	画	画	画	画	画	画
画	画	画	画	画	画	画	画	画	画	画	画	画

内訳（実丁・頁）

337

(18) 備考（書入れ・識語・所見など）  
 佩文齋書畫譜 種先先生  
 二  
 此書ハ漢エノ上古ヨリ清朝ニイタル書画ノノ姓所字号及郷里ヲテモ悉ク記シテノハ引ニシテ考索ニ便リス

女童子訓 翁草 貝原先生校訂  
 四

廿九印正 清 林陽甘陽 也述  
 一  
 此書ハ上蒙原ヨリ起リ印論ハ泰漢ヨリ明清ニ至ル各朝ノ辨別ノ如シ類形等ノ精論ヲ著セ且肉體ノ大ニ至ルマデ秀ク鋭ク流スルナシ

大和女訓 井沢長秀著  
 五  
 此書ハ女武職武藝武具軍用武具旅具等比大和衆ノ俗ヲ悉ク述ラレテ書ツラね画圖を以テ使用に便ス

石印集註 茅州本曾磐編  
 二  
 此書ハ石印ノ式法古印ノ誤字入ノ去石ノ目利印内ノミヲハヤク其外他家刻ニあがることヲ悉ク記シ印刻好車ノ人此書を見れば師なして上達ス

男子訓 同着  
 三  
 此書ハ世にいひならざる万事ノ説ヲ中ニ分リかた子説或はあやまり伝ふる俗説などを悉く和漢ノ諸書を引テあらため正セリと面白ク大に益アリ

長半假名引節用集  
 一  
 此字引は假名ノ奇偶ノ教トを分チたれば文字を索むるに便なること〇〇ノ節用ノ類にからず〇頁字を附け和訓を正し字毎に十三門を以テて見索

廣益俗説辨 井澤長秀著  
 廿二  
 此書ハ世にいひならざる万事ノ説ヲ中ニ分リかた子説或はあやまり伝ふる俗説などを悉く和漢ノ諸書を引テあらため正セリと面白ク大に益アリ

增補好女節用集 小本  
 一  
 世話字引付

今昔智雄鑑 藤樹先生著  
 十  
 此書和漢ノ名賢良將ノ傳記ノ中ヨリ智術ニ明ナル言行ヲ著録シタレバ人々采覧ニカキテ於テ必明智ナラシム

中將茶絹節師 小本  
 三

古今立花指南大全 一

大將茶絹節師 同

立花井〇〇を悉く述レ〇〇〇〇を述べず述べ記す凡立〇の書勿かれども此書のニヒク細なるはあらじ

此書ハ中將茶大将茶のはじまヨリさしかたの圖式まで悉く記して〇〇〇に〇リす

(19) 複写  
 有・無 コピー・写真・マイクログ  
 （全・挿絵・広告・蔵版目録）